

もももよう

もも79号 2014年 1月10日 発行

株式会社 時田工務店

〒360-0041 埼玉県熊谷市宮町1-3
TEL (048) 521-0752 FAX (048) 525-2027
E-mail: momo@tokita.co.jp
URL: http://www.tokita.co.jp

まちびとネットワーク

同じ思い（新居にて）

山川 宏之

古い大きな松の木

縦一間、横一間半の大きな開口部の向こうに、古い大きな松の木が鎮

座している。その全容がちょうどその開口部に収まるように、家の位置を前よりも一間下げて建ててくれた。弟に言われて気が付いた。陳腐な表現だが、スクリーンに映し出される映画のようだ。



大叔父が我家の旧事録に「二百年近いこの巨松。家運の難航の際も、不幸の折も家族はじつと歯を喰いしぼってこの巨松を眺めて、苦難に耐えて来たのである。」と書いた松の木だ。

思いが感動を呼ぶ

反抗期の来た私は、父親に向かって「人が人を導くなど思い上がった考えだ。」と悪態をついて、勘当同然に熊谷の地を出て行った。父と和解したのは、それから何年経ってからだろう。多分、決定的だったのは、ボイラーマンやガードマンなどの肉体労働をしながら税理士の国家試験に受かり、母親から「お父さん泣いていた。」と電話をもらったときかもしれない。死にゆくことを考えれば、人は自分の為に生きていけない。子供の笑顔、子供の喜び、子供の生きがい、・・・思いは皆同じだろう。

父親の家族に対する思い

取り壊した古い家は、五十年前に父が三十代で建てた。父親は学校の先生をしていた。高校時代に遅い

アルボックスの西村さんは、あまり多くを語らない。家屋の位置、軒の長さ、窓の場所、無垢材と漆喰、無垢の床下のかませ板、みんな後で職人さんから聞いて、また、実際に暮らしてみても、アツと思うことばかりだ。「西村さん、こういうこともっと言えばいいのに。」という、「当たり前」のことだから。」という返事感動した。思いが技を生み、思いが感動を呼ぶ。そんなアルボックスさんとアルボックス・コアの皆様に到達えたことは、奇跡のような僥倖だ。いつの日か、娘たちが、この家を

謹賀新年

代表取締役社長

時田 芳文

皆様に於かれましては、恙無く新年をお迎えの事と存じます。

国内は、絶対与党としての一強自民党によるアベノミックス効果を好感し、世界は、米国の覇権衰退と多極化をジ・ゼロと呼ぶ危うさの中で新年を迎えました。

グローバル化の時代である事を実感しながらも、ローカル主義の只中に生きる私達は、マスコミの情報ほどに時代が見えませんが、

まだまだ厳しい状況にある建設業界の今を思うと、だからこそ私達は、コミュニティ・コンストラクションとしての使命を誠実に全うしなければならぬと、改めて強く思っております。

「地域に暮らし、地球に生きる」と言う我が社の視座をベースに、地域社会への思いを正しく発し、これを受け止めて下さる方々との共生・共助を、本年も確りと構築して行きたいと念じております。

引き続き100年企業を目指し、御客様には高品位な建築を通して「信頼と満足」を、関係協力業者の皆様とは「公正と更なる技術と品質」を求め、矜持を持って地域工務店としての社業に邁進して行きたいと存じます。

本年も、旧倍に増しまして変わらぬ御指導御鞭撻を、宜しくお願い申し上げます。



見て、私たちの思いを感じてくれること、そして、同じ思いをまたその子にそいでくれること、それが、私と家内のささやかな望みだ。

四季おりおり

ハハコグサ

春の七草の一つで御形（ゴギヨウ）とも呼ばれる。キク科ハハコグサの越年草。形態は冬季にはロゼット状態で過ごし春になると茎を伸ばし花をつける。葉と茎には白い絨毛を生やす。

花期は4〜6月で茎の先端に黄色の花を多くつけます。生育地は中国・東南アジアで日本では古い時代に朝鮮半島から伝わったといわれ全国で見られます。かつては草餅に用いられていましたが母と子を白と杵でつくのは縁起が悪いとヨモギに変わってしまいました。古い名はオギヨウ、ホウコで新芽が違ふ事からなまったのではとの説があります。

ホウコ（這子）とは昔赤ん坊の側に置き災難を受ける形代（かたしろ）で、一種の身代わり人形・・・雛人形の原型の一つとされ、3年ぐらいたると川にながすこともあったとか。

ハハコグサの葉は白っぽい、これは他の植物にない特質です。室町時代の古い這子人形は白くそれに白い衣装が着せられていました。古来けがれのないものは白で表現され、平安時代、白い紙や白い衣装が高値であった時代、庶民は白いハハコグサで身体をなで、けがれや罪の形代として川に流したのでしょう。

（太田泰弘先生の資料から）
熊谷山草会 伊藤 治



2013 時田工務店環境報告(環境適正管理委員会)

我社は、建設業務プロセスから発生する建設副産物の抑制や再利用の促進及び適正処分の徹底などの管理システムを構築し、環境保全活動の向上を図ることを環境方針とし、日々努力しています。

・産業廃棄物処理

23年度の産業廃棄物の排出量583.78tは、22年度の2倍以上となってしまいました。このことを踏まえ24年度の数値目標を22年度の数値目標250tとし減量化に向けて活動してきました。結果130.72tという目標の半分程度に抑えることができました。発生した産業廃棄物は、10社の産業廃棄物取扱業者と委託契約を結び、すべて再利用又は適正処分されました。この結果を24年度処理計画実施状況報告書及び25年度処理計画作成報告書として埼玉県に提出しました。

品目別発生量 (t)			
品目	発生量	品目	発生量
コンクリート塊	30.00	汚泥	0.00
アスコン塊	0.00	紙くず	0.00
レンガ、ブロック	14.28	木くず	0.00
石膏、繊維石膏	0.00	紙、繊維くず	0.00
壁紙	0.00	石膏ボード	1.20
金属くず	1.98	混合	47.06
混合	1.92	石膏含有廃棄物	0.00
石膏含有廃棄物	0.00		
小計	75.96	小計	54.76
小計	38.15	小計	41.29
合計		合計	130.72 t

発生量比較 (t)				
品目	22年度発生量	23年度発生量	24年度発生量	前年度比
安定型	85.86	460.99	75.96	83.52% 減
管理型	119.19	122.29	64.76	55.22% 減
特別管理型	0.00	0.00	0.00	
その他	0.00	0.50	0.00	100.00% 減
合計	205.05	583.78	130.72	77.61% 減

24年度目標数量	
数量	250.00
目標比	47.71% 減

・ISO14001活動

昨年10月、2日間にわたり認証機関であるビューロベリタスジャパン(株)による維持審査を受審し、不適合件数ゼロとの報告を受けました。環境目

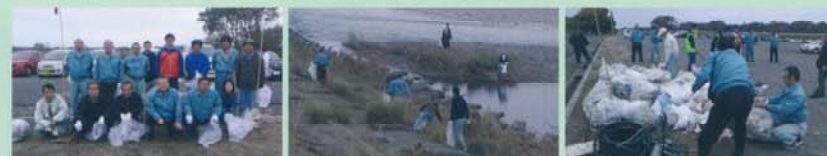
標の見直し、環境マニュアル及び環境帳票の簡略化などいくつかのアドバイスを頂いたので、新たなシステム作り挑戦していきます。

・地球温暖化防止活動

車から出るCO2の排出量を抑制するため、エコドライブを励行しています。社有車の給油量と走行距離を基に燃費を計算し、前年度を3km/ℓ上回る事ができました。

・地域環境活動

毎年参加している『荒川の恵みと熊谷を考える集い』（荒川河川敷のごみ拾い）ですが、ごみはだいぶ少なくなってきた感じがありました。しかし、今回は、例年以上に空き瓶、空き缶、空きペットボトルがたくさん捨てられていました。「ごみを拾う人=ごみを捨てない人」と考え、この活動の参加者を増やしていきたいと思います。



昨年参加しているクールシェア活動に加え、今年はウォームシェア活動にも参加しています。みなさん、夏は冷房を消して涼しい場所に、冬は暖房を消して暖かい場所に集まりましょう。

その他、現場パトロール、環境関連ポスターの配布、環境法令最新情報の通知、委託業者処理施設の視察等の環境活動を行っています。(木村)

2013 時田工務店安全報告(安全衛生委員会)

安全衛生委員会で計画されている年間事業の1つである安全大会が昨年も10月に開催されました。

第1部は例年の通り、来賓として熊谷労働基準監督署長様ならびに熊谷警察署長様をお招きし祝辞を賜り、多数の協力業者の皆さんに出席して頂き、盛大に開催する事が出来ました。

また、第2部では、毎年幅広いジャンルの中から安全衛生をテーマとした講演をして下さる方々をお招きし、御講演をお願いしています。今回は、建設業労働災害防止協会の山崎弘志さんに「建設業の安全を考える一人ひとりの安全意識」と題した講演をして頂きました。

山崎さんは、用意して来た多くのスライドにより日頃見落とされている誤った作業動作や、日頃の安全活動の問題点などを指摘されました。

その中で特に印象深かった7項目をピックアップしてみました。

①良い物をつくる為にこそ、安全を十分つくした上で達成されなければならない。すでに安全は目的でなく条件となっている。

②毎朝の朝礼で行うKY活動は、職長の一人の気付きに頼らない。職人一人一人に聞いてその改善策をいくつか出した結果を、職長が記述する。

③安全に絶対はない。ゆえに受容できるリスクと受容できないリスクを明確にし、後者には早急に対策を講じる。

④死亡災害・死傷災害発生の毎年の推移グラフを比較すると、共に同じ割合

で変化し続けている事がわかる。これは、死亡と死傷は運・不運の差でしかない事を現わしている。

⑤東日本大震災での釜石小学校のキセキから、起こらない事を想定せず、いつか起こる事と想定して予防策を施す事が必要である。

⑥日本企業と欧米企業では、意識の違いから異なる点が多い。特に、安全ルールの決め方は日本企業は相互補完

(相補性)で決まるが欧米企業は、個の判断で決まる。相補性は、協調性という点では良いが改革という点では、時間がかかるというデメリットがある。

⑦「施工の安全」は、企業(組織)が、その状態を維持しつつ、持続的に成長していく為の手段である。その為には、全員の「推進力」と管理者・職長による「回転力」。そして企業(組織)リーダーの「けん引力」と3つの力が必要不可欠である。

新年を迎え、再度山崎さんの講演内容を社員一同が思い返し、今年1年間の無災害を祈念したいと思います。そして、より良い建物をお客様に提供できる企業に成長してゆきます。(秋山)



犬と暮らす知恵袋

No.30

「オイデ」を教えよう!

犬がお家にやってきたら、一番最初に行うトレーニング!それは、オスワリでもフセでもオテでもなく、「オイデ」です。オイデとマテの練習は、別名安全トレーニングとも言い、交通事故や咬傷事故など危険から回避出来るワードです。

では、愛犬に「オイデ」と言ってみましょう!ちゃんと喜んで来ましたか?無視されていませんか?それでは、トレーニングのポイントです。

1.嫌な事をする前は「オイデ」と言わない

愛犬を「オイデ」と呼び寄せる時は、犬にとって嬉しい事が待っている時だけと徹底して下さい。「オイデ」と呼ばれて喜んで飼主さんの元へ走って来たのに、苦手な爪切りをされたり、トイレの失敗を怒られたり、嫌な事が続いたら誰でも行きたくはなくなります。犬にとって嫌な事は呼び込みをせず、さっと捕まえてしまった方が良くもありません。

2.必ず来る時だけ「オイデ」と言う

何かに夢中になっている時や他に興味がある犬に何度も「オイデ」と言う事は、「オイデ」は無視する言葉という事しか伝わりません。食事の時や散歩へ行く時やおもちゃで遊ぼうとしている時などがチャンスです。必ず、飼主さんの元へ向かって来ているタイミング時に「オイデ」と声を掛けましょう。そして首輪などが掴める懐まで来させて下さい。捕まえられないと追いかけてこになり真逆のトレーニングに早変わりしてしまうので注意。

刺激の多い場所では難易度が上がります。最初の内は室内の静かな場所で練習してください。また難易度を下げる為に、リードを付けて短い距離からトレーニングするのも良いでしょう。

3.手招きなどのジェスチャーを加える

最初は犬が理解しやすいように、手招きなどのジェスチャーを加えてあげましょう。犬は言葉よりボディランゲージと呼ばれる動作を利用した非言語コミュニケーションが長けています。はっきりとした聞き取り易い「オイデ」の言葉掛けと共に、ジェスチャーを加えると犬にとって分かり易く成功率が上がります。

犬が自分の元にやって来たら、優しく撫でたり、オヤツや玩具を与えたり遊ぶなどして、たっぷりのご褒美をあげます。この流れを、根気強く行って下さい。

CPDT-KA国際資格ドッグトレーナー 時田真緒

ペットのための新築からリフォームまで承ります



Community Construction

時田工務店

街
建
人

地域に暮らし、地球に生きる。原域に暮らす生活者の感性を、何よりも大切にしています。

一つひとつの建物が、豊かな街をつくる。だからこそ建築には、一切の妥協が許されません。

建築という仕事の質を決定するもの。それはあくまで人の質、人と人との関係の質だと考えます。